

科学研究費助成事業

「境界線の想像力:ドストエフスキー文学の世界性とその表象化をめぐる超域的研究」

Kaken "Imagination of the Border; Transdisciplinary Research on the 'Worldliness' of F. M. Dostoevsky's Literature and its Representation"

Dostoevsky Symposium

ドストエフスキーシンポジウム③

「ドストエフスキーと戦争の文学」

ДОСТОЕВСКИЙ И ЛИТЕРАТУРА ВОЙНЫ

日時 **2026年**
2月7日 土
13:30~17:00

参加無料
要申込
定員**50**名

開催方法 ハイフレックス

会場 名古屋外国語大学名駅キャンパス 多目的ラボ

進行 梅垣 昌子 (UMEGAKI Masako 名古屋外国語大学)



講演者紹介

越野 剛 慶應義塾大学
KOSHINO Go

1972年生まれ。慶應義塾大学文学部教授。北海道大学文学研究科博士課程、博士(文学)。専門はロシア・ベラルーシなど旧ソ連地域の文学・文化史。主な業績は「ドストエフスキーとロシアにおける病の文化史」(博士学位論文)、「越境する革命:『呪える!中国!』と東アジアの左翼芸術理論」(森社、共編著)、「現代ロシア文学入門」(東洋書店新社、共編著)、「紅い戦争のメモリースケープ:旧ソ連・東欧・中国・ベトナム」(北海道大学出版会、共編著)、「ベラルーシを知るための50章」(明石書店、共編著)。



講演者紹介

太田 慶 映画監督
OTA Kei

1968年、大阪生まれ。大阪大学経済学部卒。日活動務。会社勤めの傍らニューシネマワークショップ、映画美術学校に通い映画作りを学ぶ。オムニバス映画『サビ男サビ女』(2011年)「中の一編『ハゲマシガールズ』(藤田容介監督)のプロデューサーを務める。映画美術学校「脚本コース」で小中千昭・高橋洋に師事。同コースの「長編シナリオ課題優秀作品」に選出された脚本を自らの手で映画化した『狂える世界のためのレクイエム』(2015)で監督デビュー。川端康成の『眠れる美女』に着想を得た『桃源郷の娘』(2018)が、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2019で「北海道知事賞」受賞。ドストエフスキーの『白夜』をリクリエイトした『永遠の待ち人』が2025年劇場公開。

【プログラム】

開会の挨拶

亀山 郁夫 (KAMEYAMA Ikuo 名古屋外国語大学)

Part I 基調講演

「ドストエフスキーと戦争の文学：
アレクシエーヴィチとアレシ・アダモーヴィチを中心に」

越野 剛 (KOSHINO Go 慶應義塾大学)

Part II 招待講演

「『永遠の待ち人』での『白夜』リクリエイトの試み：
ドストエフスキー×ブレッソン×三島」

太田 慶 (OTA Kei 映画監督)

コメンテーター

「ドストエフスキーの『白夜』と『永遠の待ち人』」

木寺 律子 (KIDERA Ritsuko 京都産業大学)

Part III 研究報告

「『悪霊』受容の深層：
ドストエフスキーとショスタコーヴィチ 2」

亀山 郁夫 (KAMEYAMA Ikuo 名古屋外国語大学)

Part IV 近況報告

梅垣 昌子 白井 史人 望月 哲男 ほか

応募締切 2026年1月30日(金) 17:00まで

申込方法

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。

右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/rEFyTLDv>



本学へのアクセスについて

〒451-0051
名古屋市区別武新町3-1-17
BIZrium名古屋 6F
来校には公共交通機関をお使いください。



問合せ先 mail: dsjn_gg@nufs.ac.jp